

# 建築家・長谷川逸子レクチャーと対話

## 市民生活

## と

## 建築

現在、仏パリの郊外の「ポンディ・イッシー周辺再編成プロジェクト」を手掛けるなど日本を代表する女性建築家として世界的に最も活躍している長谷川逸子。

ワークショップセンター・月見の里学遊館（袋井市）や湘南台文化センター（藤沢市）など市民が行き交う広場として、公共文化施設を数多く手がけてきた長谷川逸子は文化発信の場を、地域住民の生活と同じ地平に位置付け、市民参画のワークショップを用いながら設計していく手法が有名です。

これまでの作品のプレゼンテーションをはじめ「生活の中での建築」や「市民が交流する広場としての建築」をテーマにお話いただけます。建築に興味のある方はもちろんのこと「まちづくり」や「市民活動」など、人と人との結びつきをデザインすることに興味のある方にとっても貴重な機会となることでしょう。



長谷川逸子 Itsuko Hasegawa

静岡県生まれ。関東学院大学、東京工業大学を経て1979年長谷川逸子・建築計画工房設立。1986年日本建築学会賞、日本文化デザイン賞を受賞。2000年第56回日本芸術院賞受賞。2001年ロンドン大学名誉学位授与。2006年アメリカ建築家協会特別名誉会員の称号を授与。作品として「眉山ホール」（焼津市）、「湘南台文化センター」（藤沢市）、「すみだ生涯学習センター」（東京都墨田区）、「山梨フルーツミュージアム（笛吹川フルーツ公園）」（山梨市）、「月見の里学遊館」（袋井市）、「新潟市民芸術文化会館」（新潟市）等々がある。

日時

11月10日（木）

開場18:00 開演18:30 / 20:30終了予定

会場

静岡文化芸術大学 南280講義室

※ ご来場の際は公共交通機関をご利用下さい。

参加費

無料（予約不要）

問い合わせ

静岡文化芸術大学 川口研究室

Tel.090-4164-1681

主催：静岡文化芸術大学 / 袋井市月見の里学遊館